

## 野村謙二郎CUP抽選敗退し ベスト8進出ならず

11月29日、憧れのマツダスタジアムで開幕した野村謙二郎CUP第6回西日本中学野球大会は、同球場で行われた全播磨硬式野球団(兵庫)との1回戦を接戦の末勝ち上がり、翌30日、佐伯総合スポーツ公園野球場で行われたヤングひろしま(広島)との2回戦は、2度に亘り先行しながら追いつかれ、互いに投手を中心とした堅い守りで簡単には得点を許さない展開となり、延長10回まで戦って2-2のまま決着がつかず、大会特別規定により抽選の結果、残念ながらベスト8進出はなりませんでした。



## 年越し寒波の中、2015年度 OB交流会開催

1月2日、恒例のOB交流会を東尾道スポーツ広場に開催しました。当日は、年越し寒波襲来で寒い中、高校・大学・社会人・プロ野球で活躍する卒団生に現役選手、スタッフ、保護者など合わせて200名を優に超えるみなさんにご参加いただき、例年のように盛会な交流会になりました。

選手たちは、憧れの先輩たちのプレーを間近に見ながら一緒に守備練習をしたり、実政選手(9期生/三菱重工広島)、土生選手(12期生/広島東洋カープ)にはバッティング指導を受けるなど、先輩たちとの交流にこころ躍らせ大変楽しく有意義な時間を過ごして、思い出に残る一日になりました。

## 宗光・立花君(岡山理大附属) 甲子園大会出場

第87回選抜高等学校野球大会出場の岡山理大附属(17年ぶり5回目出場)のベンチ入りメンバーに尾道シニア21期卒団の『宗光康作・立花海都君』が選ばれ、憧れの甲子園大会に出場しました。

自由闊達な気風に惹かれ進学した高校での努力が報われ、新二年生ながら甲子園出場を果たした二人の活躍や岡山理大附属の勝利を願って、3月22日、甲子園球場へ応援に駆けつけました。試合は、1点先取するも左越え3ランなどで逆転を許し、昨秋の関東地区大会2位の強豪にあと一歩及ばず3-8で逆転負けを喫しました。新二年生の二人には、このセンバツ大会で得た貴重な体験を活かして、また、この夢舞台、甲子園球場に戻って活躍を期待しています。

## 2015年、新年必勝祈願に行きました

1月10日、烏須井八幡神社へ2015年、新年必勝祈願に行きました。当日、選手たちは、宮本宮司さんから祝詞の一節『野球の道・学びの道』の説明を受け、改めて、チームのモットー『一球入魂・全員野球』で戦い抜く決意をしてくれたものと思います。

## 新入団選手(25期生) 9名を迎えました

今年は、例年になく入団選手は少ないですが、将来性豊かな粒ぞろいの選手ばかりです。これから3年間、お世話をしていただくさんの人たちへの感謝を忘れず、大好きな野球を思いっきり楽しみながら、一人ひとり夢の実現を目指してもらいたいです。



岡田 颯士(近大附福山中)

小野 真(城北中)

釜本 竜生(美木中)

河本 響(美木中)

高橋 晃太(浦崎中)

村上 悠絃(向丘中)

矢違 照(千年中)

山本 光(栗原中)

横山 太一(培遠中)

## 22期卒団生の進路が決まりました

22期生は、これまで多くの先輩たちがあと一步のところ  
で涙をのんできた日本選手権(神宮)大会に、13年ぶり2度  
目の出場を果たし、ベスト8進出こそ逃したものの過去に優  
勝経験もある関東の強豪・静岡裾野チームを相手に善戦す  
るなど、生涯記憶に残る熱い夏を過ごしてくれました。

この4月から、それぞれに期待や不安を抱えながら希望  
に燃えて新たなスタートを切りますが、お世話になった人た  
ちへの感謝を忘れず、仲間との絆を大切に、何よりも自分自  
身を信じて、次のステージ・高校での更なる飛躍を心から  
願っています。

松岡 直輝・木曾 秀一	広陵高校
井上 太河・小畑 空・福嶋 健矢	如水館高校
開原 健斗	広島新庄高校
紙谷畑 海斗	石見智翠館
神原 政央	近大附属福山
久保 義一・柴崎 草太・前田 悠登	尾道商業高校
桑田 和真	戸手高校
永井 涼太	尾道高校
嶺 知憲	岡山理大附属
渡辺 拓也	盈進高校

## 春季大会、本領発揮できず 秋季につづき準優勝

第44回春季関西連盟中国支部大会は、3月22日(日)、福  
山市民球場において3位決定戦・決勝戦が行われました。

わがチームは、攻守にそつのない試合運びで勝ち上がり  
3年ぶりに春季大会決勝戦(VS高川学園)に臨みましたが、  
この決勝戦は、イニング制限による投手交代が予定される  
中、2回表2死から2点の先制を許すなどピンチに適時打  
で着実に加点され、攻めては丁寧にコーナーを投げ分ける  
投球にかわされ本領発揮できず、一方的な展開に終始し悔  
しい完封負けを喫しました。

昨年の秋季大会につづき、この春季大会でも決勝戦まで  
駒を進めながら、本来の投手を中心とした守り勝つ野球が  
できず、選手たちは、大変悔しい想いをしていますが、残る  
リベンジの舞台、選手権大会で捲土重来を期してくれるも  
のと期待しています。



-追伸- 広島西会長旗争奪フレンドシップ野球大会(3月28  
~29日開催)で優勝しましたが、準決勝戦(VS高川学園)で  
は、不利な展開の6回裏、集中打で一気に流れを呼び込み逆  
転勝ちして、春季大会決勝戦の嫌なムードを一掃し、チーム  
はリベンジに向けて勢いづくものと期待しています。

## 第22回尾道市長旗争奪野球大会準備はじまる

尾道市長旗争奪シニア野球大会は、中学球児の夢への挑戦  
をサポートする活動の一環として、西日本の各地からリトルシ  
ニアの仲間が集い交流できる場を提供するとともに、地域の  
少年硬式野球の振興に寄与することを目的に、毎年8月上旬、  
尾道市内を中心に開催しています。

大会も、今年で22回目を迎えますが、3月7日、大会準備打  
ち合わせ会を開催し大会運営など基本方針を確認して、例年  
のように、大会パンフレット掲載の広告協賛金集めに着手する  
ことになりました。

中学球児の夢への挑戦をサポートする活動の資金といたし  
たく、何卒、賛助会員のみならずにも、例年のように広告掲載  
のスポンサーを紹介いただくなど、この活動にご協力をよろし  
くお願いします。

ご用の際は、いつでもお気軽に大会事務局長(田頭 健太  
郎)までご連絡ください。

- 日 程／平成27年8月1日(土)~2日(日)
- 会 場／びんご運動公園しまなみ球場 他

## 賛助会員のみなさんへ

賛助会員へのご加入並びに資格更新をいただき誠にあり  
がとうございます。平成27年4月1日現在、賛助会員数は  
次のとおりになりました。

個人会員 65名 法人会員 3団体

賛助会  
事務局

田頭 健太郎

携帯電話 090(8247)9052